

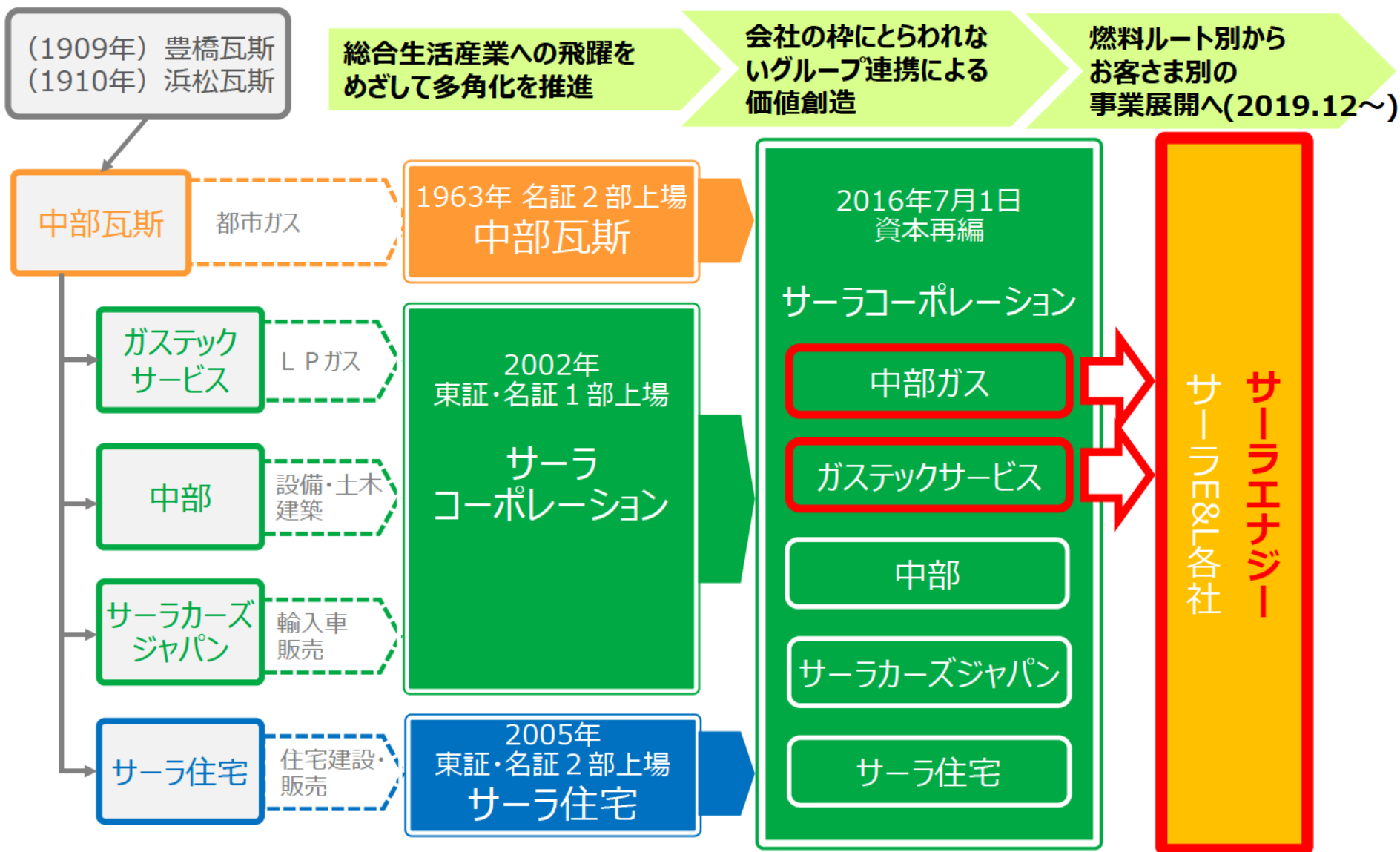
電力スマートメーター通信網を活用した LPガス集中監視システム構築の取組みについて

【目次】

- 1. 当社の紹介 P1～P2
- 2. 電力NWを活用したLPガス集中監視システム構築の取組み概要 .. P3
- 3. 通信イメージ図 P4

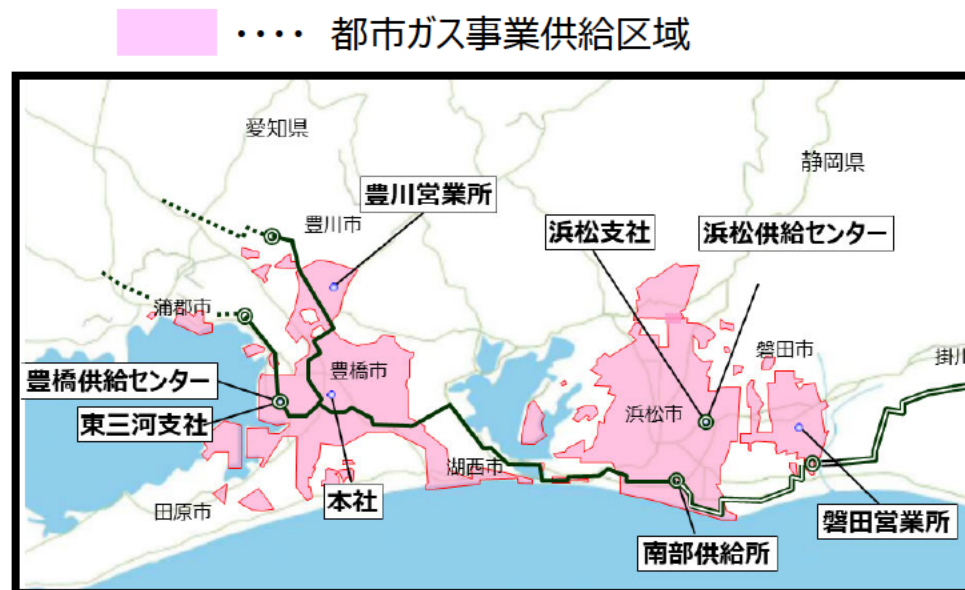
2020年10月28日
サーラエナジー株式会社

2019年12月に旧中部ガス株式会社と旧ガステックサービス株式会社が合併し、
ソーラエナジー株式会社として「都市ガス事業」及び「LPガス事業」を行っている。



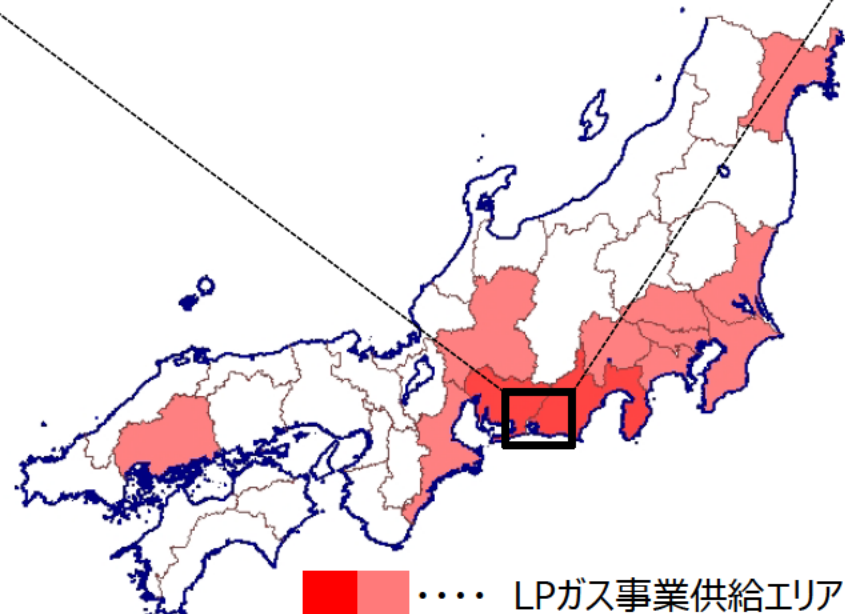
【都市ガス事業】

- 供給区域 (右図ご参照)
愛知県豊橋市、豊川市、蒲郡市、田原市、
静岡県浜松市、磐田市、湖西市
- お客さま数
23.7万件
(2019年11月末 ※取付メーター数)
- ガス販売量
3.4億m³
(2019年11月期実績)



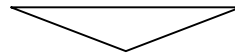
【LPガス事業】

- 供給エリア (右図ご参照)
東海エリア、関東エリア、広島、仙台
- お客さま数
20.8万件
(2019年11月末 ※取付メーター数)
- ガス販売量
2.1万トン
(2019年11月期実績)



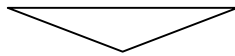
背景

- ✓ 当社は、1997年の液石法改正を受け、同年に自社にてLPガス集中監視センターを設立し、主に電話回線を通じて検針値や保安情報を取得をしてきた。
- ✓ 現状LPガス集中監視設置率は70%を超え、液石法に基づくゴールド保安認定事業者になることで、当社はLPガスの保安の高度化及び遠隔検針等による効率的なガス業務を実践してきた。



課題・方向性

- ✓ 近年はお客さまの通信多様化によるLPガス集中監視率の伸び悩み等の課題が顕在化してきたため、新しい通信方式を活用したLPガス集中監視システムの導入を検討し、2021年度より、中部電力殿の電力スマートメーター通信網を活用したLPガスの遠隔自動検針の導入を決定した。
- ✓ 現在、2021年度の導入に向け、当社LPガス集中監視サーバと電力スマートメーター通信網のシステム連携検討や、運用面の検討を進めている。
- ✓ 2021年度以降、中部エリアにおいて、電力スマートメーター通信網による集中監視を限りなく100%に近づけていく方向性である。



電力通信網に求める要件

- (P2「通信イメージ図」参照)
- ◆データ取得について
 - ✓ 当社はLPガス集中監視システムを導入しているため、以下の要件が必要になる。
 - LPガスメーターが発報する警報が即時に取得できること。
 - 緊急時に集中監視センター側から遠隔でお客さま宅のLPガスメーターを遮断できること(遠隔開閉栓機能)
 - ✓ 検針値は、1時間の粒度で1日2回取得する方向性で進めている。
 - ◆データの取得方法
 - ✓ 当社が保有するLPガス集中監視サーバと電力スマートメーター通信網のインターフェースを構築し、検針値とLPガスメーターの警報を自動取得する方向性で進めている。

お客さま

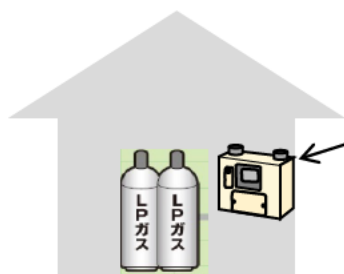
通信網

当社

現状

集中監視割合70%

【双方向通信】



※集合住宅は
FOMA・PHS通信
(全体の4割)

(通信方法)
電話回線
(※)

検針値
(1カ月の粒度で月1回取得)

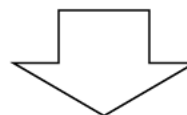
警報値 (即時取得)

遠隔開閉栓

集中監視サーバ

インター
フェース

基幹システム

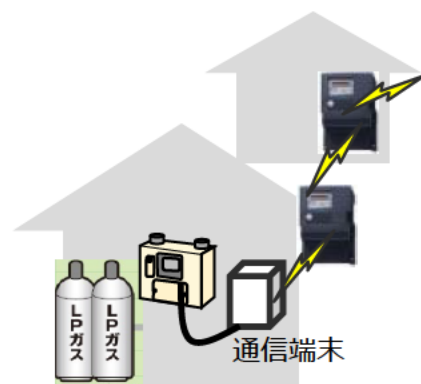


電力スマ×通信網活用後も、検針値取得に加え、
LPガス集中監視を行うための「警報値即時取得」と「遠隔開閉栓の実施」が必須事項

今後(2021年度)

集中監視割合100%
を目指す

【双方向通信】



(通信方法)
電力スマ×
通信網

検針値
(1時間の粒度で1日2回取得)

警報値 (即時取得)

遠隔開閉栓

集中監視サーバ

インター
フェース

基幹システム

インターフェース
構築予定
(自動取得)